

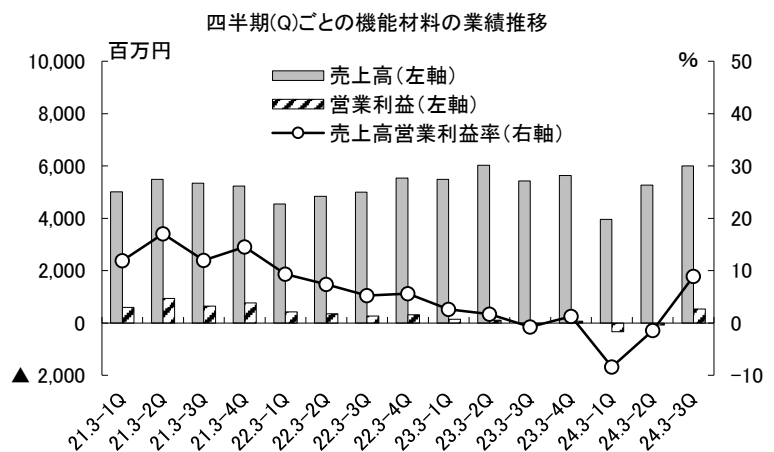
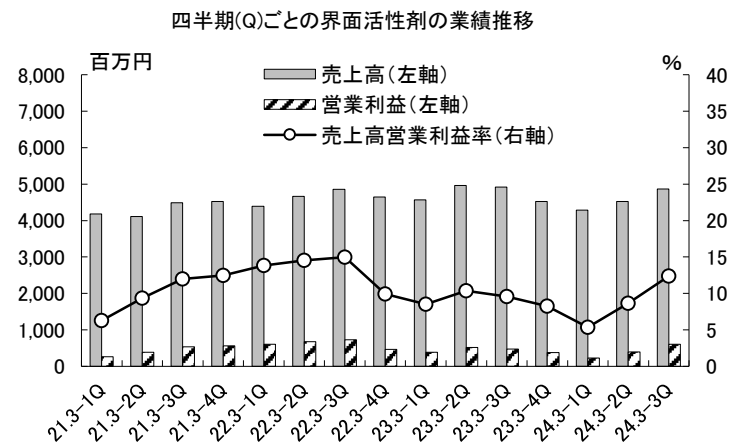
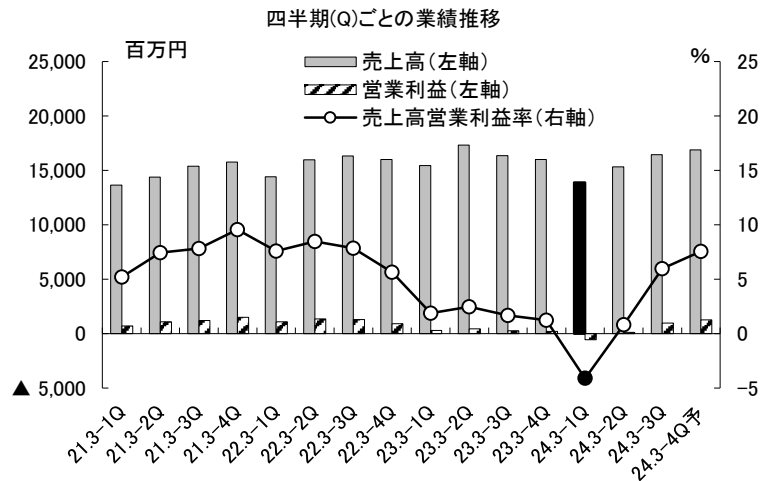
第一工業製薬 (コード 4461)

四半期ベースで24年3月期第1四半期を底に業績が急回復

第一工業製薬(4461)の業績が急回復の動きを見せている。24年3月期の第3四半期累計期間(23年4~12月)においては、売上高が前年同期比7%減、営業利益は46.4%減となったが、これは第1四半期(同年4~6月)の不振によるところが大きく、四半期(3カ月)ベースでは、当第1四半期を底に第2四半期(同年7~9月)、第3四半期(同年10~12月)にかけて売上高、利益とも急回復。第4四半期(24年1~3月)についても引き続き好調に推移していることから、会社側ではこのほど、24年3月期業績の通期予想値を増額修正している。

今期の第3四半期累計期間の業績は、売上高が456億3,400万円(前年同期比7.1%減)、営業利益が5億2,900万円(同46.4%減)となり、セグメント別では、アメニティ材料(0.9%増収、137.3%増益)以外は減益で、界面活性剤が5.4%減収、11.0%減益に、機能材料が10.1%減収、37.7%減益に、電子デバイス材料が19.9%減収、営業赤字などとなった。

ただ、これは今期の第1四半期が売上高(上段グラフの黒棒で表示)138億8,400万円(前年同期比10.1%減)、営業損失5億7,200万円(前年同期は2億9,100万円の黒字)と、2ケタ減収・営業赤字になったことが大きく影響。四半期ごとの動きでは、市況の緩やかな回復による需要増加や価格転嫁の進展などから、当第1四半期を底に売上高は再び上昇基調となり、価格改定及び経費削減による収益性改善によって利益も急激に向上。今期の第2四半期には売上高153億1,600万円(同11.6%減)、営業利益1億2,300万円(同71.1%減)と前年同期比では減収減益だが黒字に浮上。第3四半期に至っては、売上高164億3,400万円(同0.6%増)、営業利益9億7,900万円(同261.3%増)と、前年同期比でも利益面で大きく改善している。この状況は第4四半期に入っても続いており、当四半期には売上高168億6,600万円(前年



同期比 5.5%増)、営業利益 12 億 7,100 万円 (同 541.9%増) と、前年同期に比べて増収、大幅増益となる見通し。

業績の急回復の要因として、まずあげられるのが同社の基幹事業である界面活性剤セグメントで、石けん・洗剤用途は在庫調整などで軟調ながら、塗料・色材用途やゴム・プラスチック用途が堅調に推移。これまで低調に推移してきた IT・電子材料用途においては中小型ディスプレイ向けに需要に動きがみられはじめ、製品価格改定の進展なども加わり、売上高、営業利益とも第 1 四半期を底に第 2、第 3 各四半期へと増加し、売上高営業利益率も改善を続けている。

界面活性剤セグメントと並んで同社の主力事業となっている機能材料セグメントについても回復が著しい。ゴム・プラスチック用途の難燃剤が国内外で大きく落ち込んだことから、この第 1 四半期の売上高は 40 億円を下回り、営業損益でも 3 億円強の赤字となったが、ハイエンドサーバー向けなど電子材料用途の需要が大幅に伸長し、第 2 四半期は売上高が約 53 億円に拡大、営業損失額も 7,000 万円余りへと急激に縮小した。さらに、第 3 四半期には売上高が 60 億円を超え、営業利益は 5 億円強へ黒字回復となり、売上高営業利益率も大きく上昇している。

24 年 3 月期の通期業績見通し…24 年 3 月期の通期業績については、売上高 625 億円 (前期比 4.0%減)、営業利益 18 億円 (同 51.8%増)、経常利益 18 億円 (同 50.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益 10 億円 (23 年 3 月期は 4 億 700 万円の損失) の見通しで、23 年 10 月 30 日付けの会社側発表値 (売上高 620 億円、営業利益 15 億円、経常利益 13 億円、親会社株主に帰属する当期純利益 4 億円) から増額修正された。売上高については、市況回復による需要の増加、特にハイエンドサーバー向けの情報通信分野の需要が高まっていることに加え、界面活性剤セグメントを中心とする製品価格改定の進展などから、前回予想値を若干上回る見込み。利益面では、売上高の増加や、経費削減などの対策の進展、特別利益における投資有価証券売却益の計上などにより、営業利益、経常利益、当期純利益についても前回予想値を上回る見通し。1 株当たりの年間配当金も、前回の計画から 15 円増額されて 65 円の予定となっている。

◆各決算期の第 3 四半期業績推移(連結)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
21.3	43,380	2,980	163.3	—	—	—	—	—
22.3	46,697	3,725	182.8	—	—	—	—	—
23.3	49,098	988	▲40.3	—	—	—	—	—
24.3	45,634	529	31.3	—	—	—	—	—

◆通期業績推移(連結) (24.3 予は会社側発表値)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
21.3	59,140	4,485	252.0	70.0	4,955	▲3,804	255	11,531
22.3	62,672	4,626	244.8	80.0	5,520	▲2,700	▲2,336	12,151
23.3	65,081	1,186	▲41.9	80.0	724	▲2,883	▲1,030	9,051
24.3 予	62,500	1,800	104.5	65.0	—	—	—	—

(CF=キャッシュ・フロー。現金及び現金同等物は各期末値。▲はマイナス。単位は百万円、円)

本レポートは、会社側が発表した決算短信や決算説明資料などに基づき作成しており、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。